



## 令和 7 年度 乳幼児教育・保育協働研修通信



令和 7 年 6 月 26 日(木) 第 4 回研修会(教育・保育の質向上)  
【往還型研修※ 全 3 回シリーズ】第 1 回を開催しました。

### 1. 公開保育

宇治市立ひがしうじ幼稚園

4 歳児 もも組 担任 高橋 ゆうこ



19 名の先生方と一緒に学び合いました。

(保育所(園)7 名・幼稚園 2 名・  
認定こども園 5 名・小学校 5 名)

### 【往還型研修※】とは

研修で学んだ内容を現場で実践し、その実践を次の研修で持ち寄って行う研修スタイルです。研修と実践の往還を繰り返す中で、保育の質の向上を目指します。



公開保育中の環境構成や保育者の関わりで、  
心に残ったこと

(参加できなかった仲間に知らせたいこと)

### 【環境構成】

- 安心して自分で活動を選べる。
- たくさんのコーナー遊びがある環境
- 自分で選べるので活動の豊かさと自由さ
- 材料を用意して自由に主体的に活動できる環境づくり。
- 子どもにとっての「楽しい」と自分づくりは、選択—自己決定という要素が有効



### 【保育者の関わり】

- 子どもの思いに寄り添った肯定的な関わり方や言葉掛け
- 子どもを否定・制止する言葉が一切なかったこと
- いつも笑顔で前向きな言葉
- 子どもの目線で接している所(1人1人に)
- 遊びを一緒に楽しんでいる。
- 大きな声で話していない、指示していなかったこと
- 温かい関わりの中で子どもたちの思いを受け止めていること
- “教えない”ということ
- 子どもたちが「やってみたい!」と思える声かけ



## 2. 研究協議

研究テーマ 『子どもと共につくる教育・保育とは』



### Aグループ

『こどもの思いに寄り添いながら、  
肯定的に関わっていく』



### Cグループ

『選択と主体性・失敗から学ぶ成功  
体験・関わりの中での気づき』



### Bグループ

『安心して自分で活動を選べる環境』



### Dグループ

『一緒に「やりたい」を見つける』



グループ協議中に、仲間の発言で心に残ったこと (参加できなかった仲間に知らせたいこと)を教えてください。

### 言葉・声かけ

- 禁止や抑制・指示のない肯定的な声かけ
- 不必要な言葉がけがない。
- 余計な声かけ、アドバイスはしないこと
- 「見つけてくれてありがとう!」と子どもたちを受け入れる声かけ

### 土台

- 子どもとの信頼関係の土台がなければ、自由な保育はできない。
- 安全・安心という土台があって、その中で自己決定・自己表現ができる。
- 成功も大事だけど失敗も大事だということ

### 難しさ

- 子どもの見守りや道具を出す点への実践の難しさ
- 保育の内容を見ていると選択する場面が多くあった。小学校ではなかなか自由に選ぶことは難しい。どう活かしていくか…と話されていたこと
- 保育園は「生活力」を主としているが、こういった「自由」にも善し悪しがある。

### やってみよう

- 子どもたちと保育者の信頼関係、心の育ちを、公開保育を見て感じたので、意識しながら保育していきたい。
- 丁寧な保育を真似したいと言っておられたこと
- 「これだけ遊びがたくさんあれば、1つはやりたいことが見つかる」(なかなか遊びに参加しにくい子が自園にもいたので、ハッとしました)
- 一緒に「やりたい」を見つける。



### 3. 指導助言



国立大学法人京都教育大学

教育学部 幼児教育科 准教授 佐川 早季子 先生

講師の先生のお話の中で、心に残ったこと

(参加できなかった仲間に知らせたいこと)を教えてください。



#### 関わり

- ・ 子どもが“できた!”と思った瞬間に担任がそばにいて共感できるということは大事
- ・ 一人ひとりと丁寧に向き合う姿勢
- ・ 子どもたちに心も体も向き合い、寄り添う関わり

#### 肯定的

- ・ 肯定的な言葉が小さな成功体験につながるということ
- ・ 肯定的なフィードバック
- ・ 肯定的に捉え、受け止める。「~しないとダメ」ではなく、イメージが膨らむ言葉がけを!

#### 安心

- ・ 安心して自分で選べる環境づくり。
- ・ 安心感の中でやりたい気持ちなどが育ってくる。
- ・ 自分の顔写真があると居場所感がある。
- ・ 親しみ・愛情から好奇心へとつながる。
- ・ 教室の中に自分の居場所があるという喜び・嬉しさを大切に。



#### 環境

- ・ 安心して自分で選べる環境づくり。
- ・ 子どもの行動に合わせた環境の再構成
- ・ 環境が大切であること(環境・人的も含め)
- ・ 一緒につくる。
- ・ 見える化
- ・ 興味がありそうなものを置いておくだけではダメなのか…と学びました。

#### 主体性

- ・ 子どもたちと先生と一緒に環境を作る“共主体”について
- ・ 子どもが自由に遊ぶ中にある主体性、子どもの「やりたい!」を引き出す大人の主体性

笑顔で寄り添える人的環境は常に忘れず行いたい。

子どもの思いに添った肯定的な声かけやイメージを広げ、友達と一緒に心を動かしながら遊ぶ経験の工夫

各コーナーを作り、子どもたちが自分で選んで遊べるコーナー作り。

言葉を選んでポジティブな言葉に変えて子どもに伝えていきたい。

自分が作ったものが分かるようにマークをつける。(物を大切にする気持ちを育てる)

子どもたちに制止・禁止する言葉はなるべく使わずに接していきたい。

見える化をしていきたい。

保育や授業で活かしたいこと



子どもたちの意欲を伸ばす保育の作り方

選択肢のある過ごし方

主体性・選択のある保育

子どもたちへの応答的な関わり、心を動かすきっかけとなる働きかけを意識していきたい。

子どもが自由に遊ぶ中でも大人がどのように主体性を発揮できるかということ

自己決定を意図的に設定したい。

楽しかったことや子どものやりたい気持ちに寄り添い、興味などを高めていきたい。

子どもの思いをつかむ。

見つけたよカードを生活科で書く時の声かけ、働きかけが足りなかったと感じた。

子どもが主体的に選んで学べる環境

肯定的に子どもを前向きに捉えること

## 一緒にグループワークをした仲間に一言メッセージ

### 【Aグループ】

- いろいろな角度からの意見が聞けて学びになりました。次回もお願いします。
- 貴重な意見ありがとうございました。同じ思いもあつたりで共感し合えたのも嬉しかったです。
- 発言しやすい雰囲気を作ろうとくださり話しやすかったです。次回もよろしくお願いします。
- 今日はお疲れ様でした!!次もよろしくお願いします!!
- 残り2回もよろしくお願いいたします。

### 【Bグループ】

- 違う職種や環境にいる中でも共感し合えることがあったり、新たな発見や刺激になりました。本当にありがとうございました。
- とても話しやすかったです。またご一緒できることを楽しみにしています!!
- グループワークをすることで自分とまた違った考えや子どもを見る目線があり、楽しくお話させていただきました。
- 幼・保の先生方からお話を伺えてとても勉強になりました!ありがとうございました!次回もお願いいたします!

### 【Cグループ】

- 色々な話(保育や教育)が出来て良かったです。ありがとうございました。
- 共感できるところが多く安心しました。
- 次回もよろしくお願いします。今日はありがとうございました。
- ありがとうございました!
- 違う環境の中でのお話がとても参考になりました。多様な視点を持たれている先生方とグループワークをしてもっと学びたいと思います。

### 【Dグループ】

- 今日には共に色々考えて、とても勉強になりました。
- 公開保育のことだけでなく、色々な視点の話を聞くことができて、学びが深まり、とてもよい研修になりました!ありがとうございました!
- 子どもの最高の体験のため、一緒にがんばっていきたいです!!
- 安心して話せる雰囲気でした。ありがとうございました。

